

「お兄ちゃんっ!!今日は私達2人の
結婚式だったのに、私が呼んだ友達のおっぱい
ジロジロ見てたでしょ??何考えてんの!!」

「み、見てない...!一瞬、チラッと見ただけで」

「他の女の子のおっぱいに目移りするような
わるい旦那様は、パイズリの刑だからね!
射精我慢できなかつたら、今日から新婚旅行中は
ずっと本番なし!!」

「そ、そんなあ...!あっうああああああ!!」



「あれ〜？もう射精しそうなの〜？
でも我慢！我慢だよ♪
このまま射精しちゃったらハネムーンで
セックスできなくなっちゃうよお??」

「ううう…じ、焦らさないでくれエ…!!
も、もう限界だ…!!
は、早く、早く射精させて」



「ほんとにダメな人だなあ、お兄ちゃんは♡
それじゃ、ほら。射精したかったら、
いつもみたいにねだりしないと♡」

「あ、愛してる妹おおお…!!
こ、こもりいいいい!!
し、死ぬまで妹の奴隷になるから…!!
頼む…!頼むから、つ、続きを」



「あゝあ、結局パイズリ我慢できなかったね。やっぱりお兄ちゃんは私のおっぱいじゃないとびゅっびゅできないんだ♡」

「じゃあ、またパイズリ続けるね?」

「あ、あのお……や、やっぱり、結婚初夜だし、本番も」

「だめ☆今日はパイズリしかしてあげない♡」



「どう?? すっきりした? 旦那様やっぱり今から本番する??」

「も、もう…無理……ゼヒゼヒ……」

「疲れてるみたいだから、もう新婚旅行キャンセルして、家でずーっとエッチしよっか♡♡」

「お、お、お……」

